

第5回フォーラム

生活産業部会

2022年下期の振り返りと今後の展望

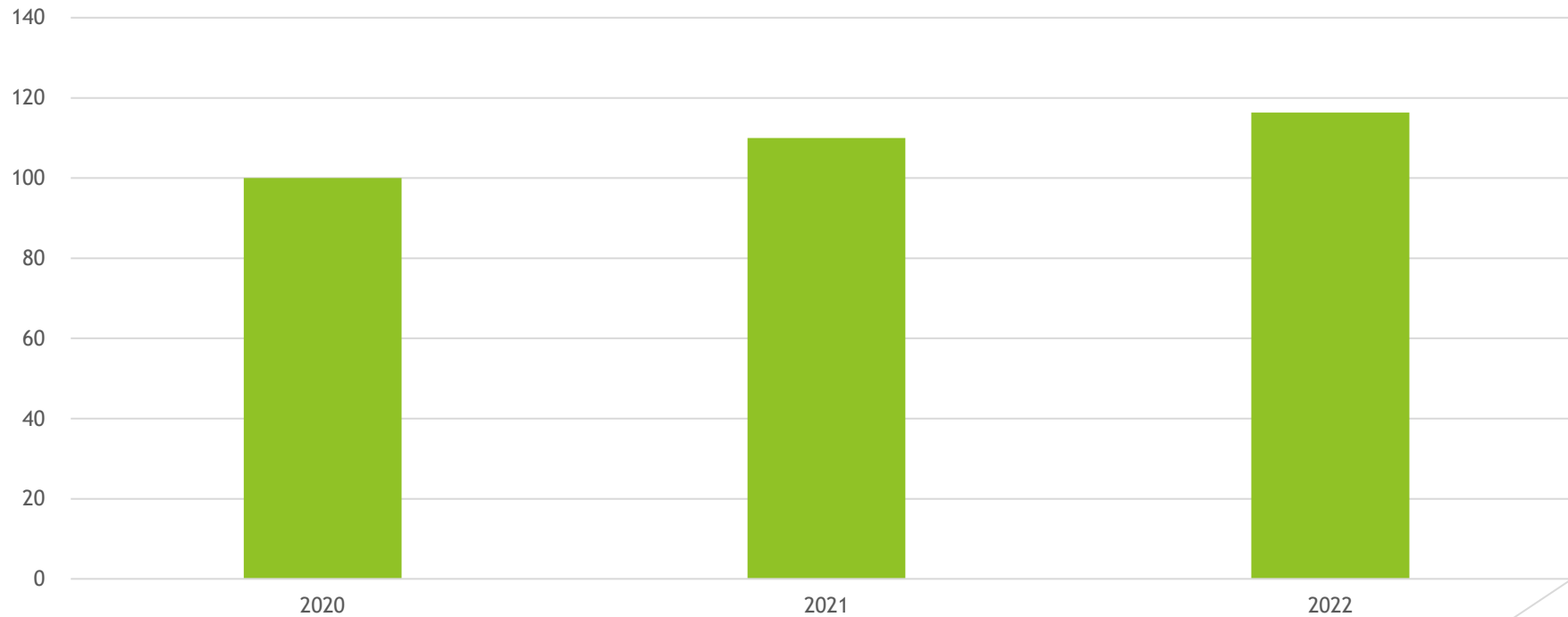
2022年3月30日

本日の内容

- ▶ 1. 建設・不動産・エネルギー関係の2022年下期振り返り
- ▶ 2. 繊維関係の2022年下期振り返り
- ▶ 3. 建設・不動産・エネルギー関係の2023年通期展望
- ▶ 4. 繊維関係の2023年通期展望
- ▶ 5. 高インフレ下での影響と対策

1. 建設・不動産・エネルギー関係 2022年下期振り返り

受注金額



1. 建設・不動産・エネルギー関係 2022年下期振り返り

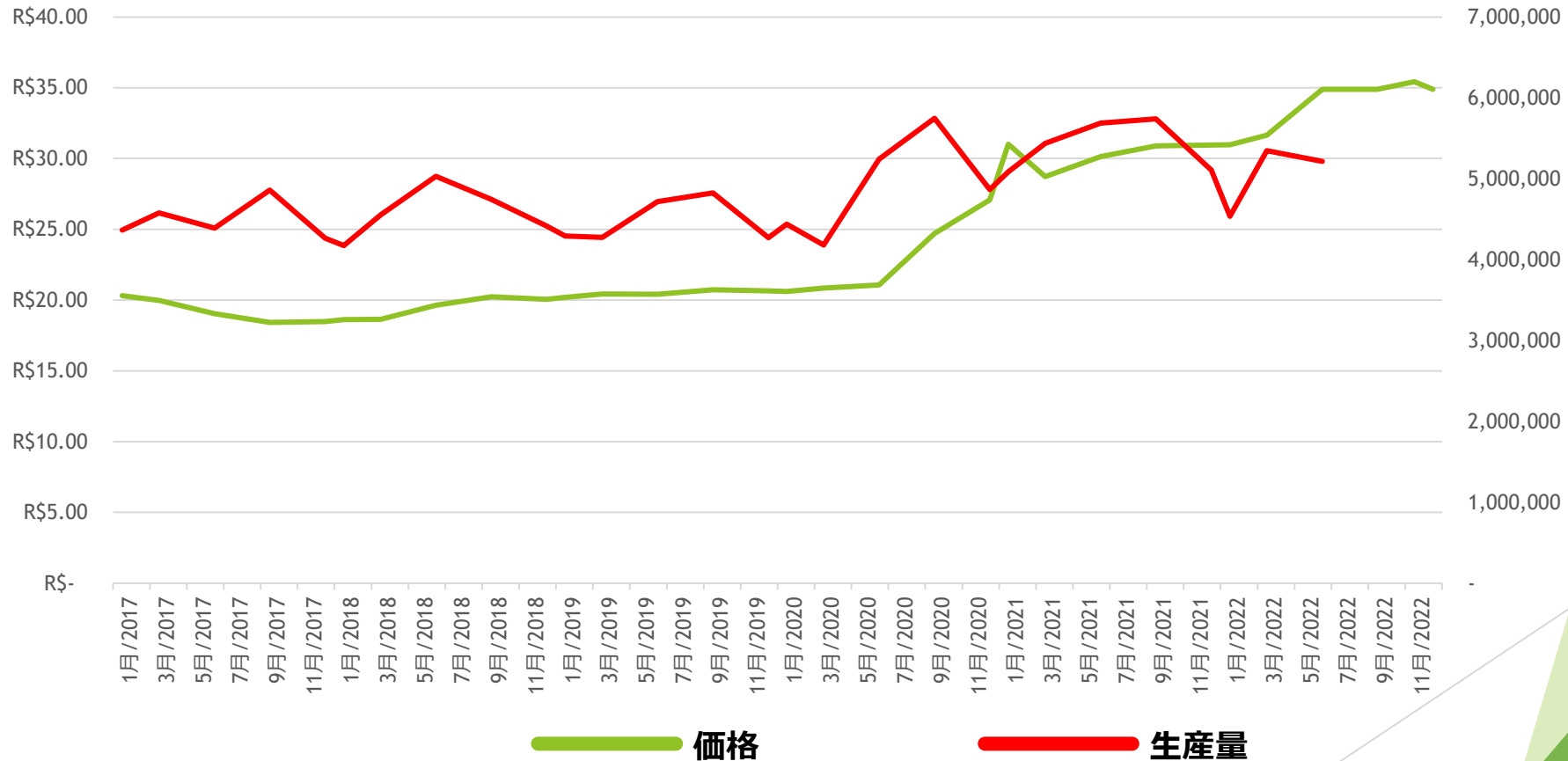
<建設関連>

- ・ 全般的に投資活動が堅調に推移
- ・ コロナ禍の一段落による投資
- ・ 大統領交代に伴う各種規制発行前の投資

セメントの価格・生産量の推移

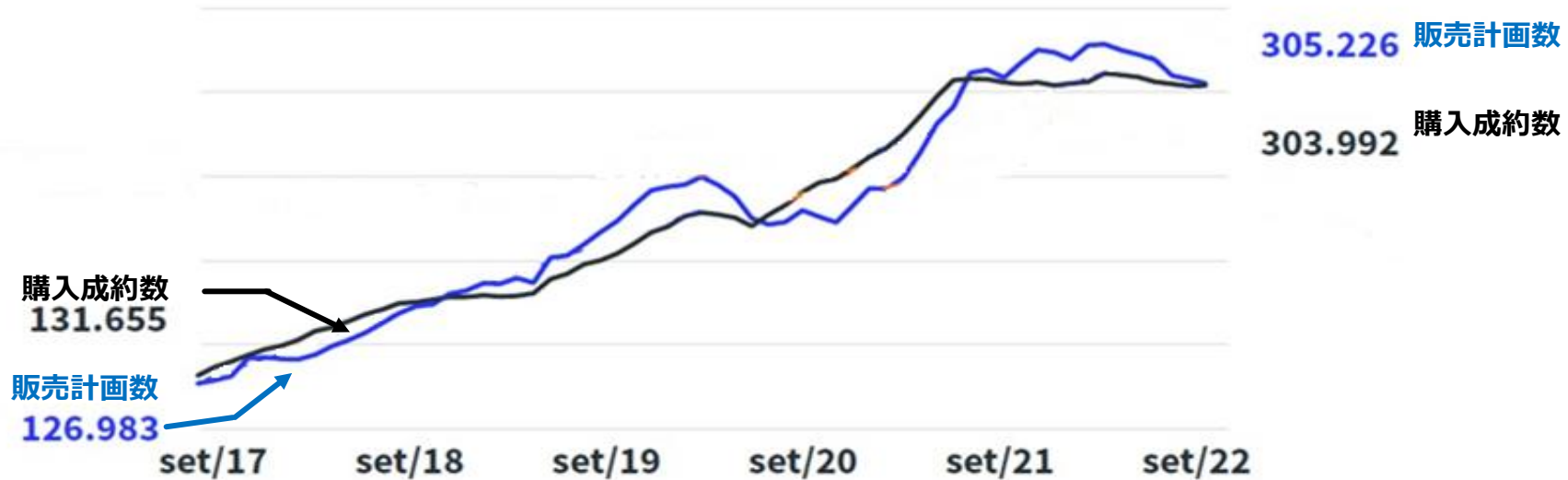
価格(50kg袋)

生産量(t)



新期住宅建設の実績推移グラフ

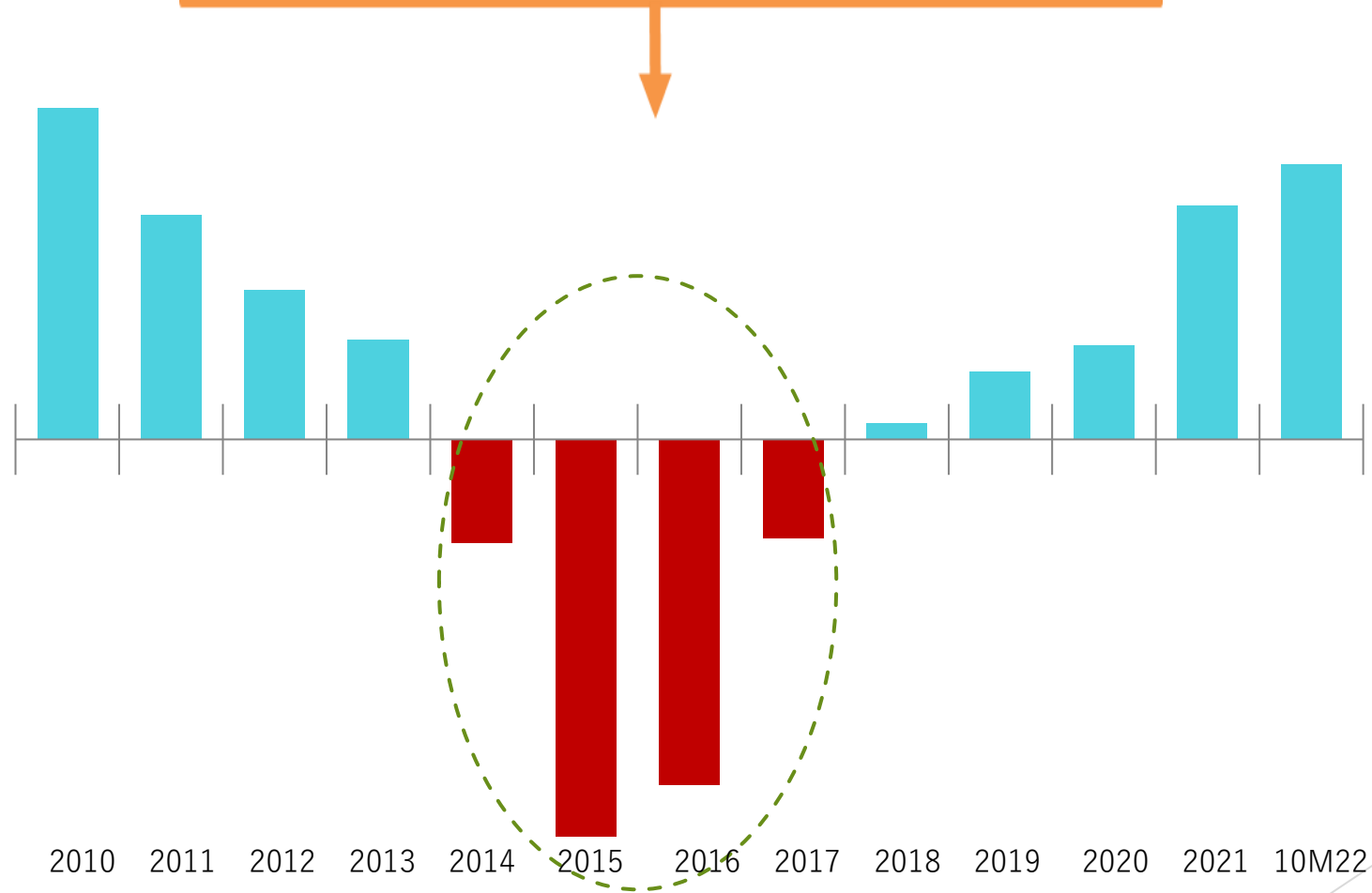
● Lançamentos ● Vendas



	set/17	set/18	set/19	set/20	set/21	set/22
購入成約数	126.983	168.684 ▲	217.051 ▲	229.697 ▲	308.761 ▲	305.226 ▼
販売計画数	131.655	174.685 ▲	200.187 ▲	240.681 ▲	305.847 ▲	303.992 ▼

建設業新規従事者数の推移グラフ

理由: マイナスになったのはルセフ大統領失職、不正会計、Lava Jato等々。



1. 建設・不動産関係

2022年下期振り返り

<不動産関係>

売買市場

- ・ リモートワーク終了に伴うサンパウロ回帰
- ・ 高齢オーナーによる資産処分の増加

賃貸市場

- ・ 家族帯同者増のタイミングでの家賃見直し
- ・ 人気ビルの競争激化による賃料相場上昇

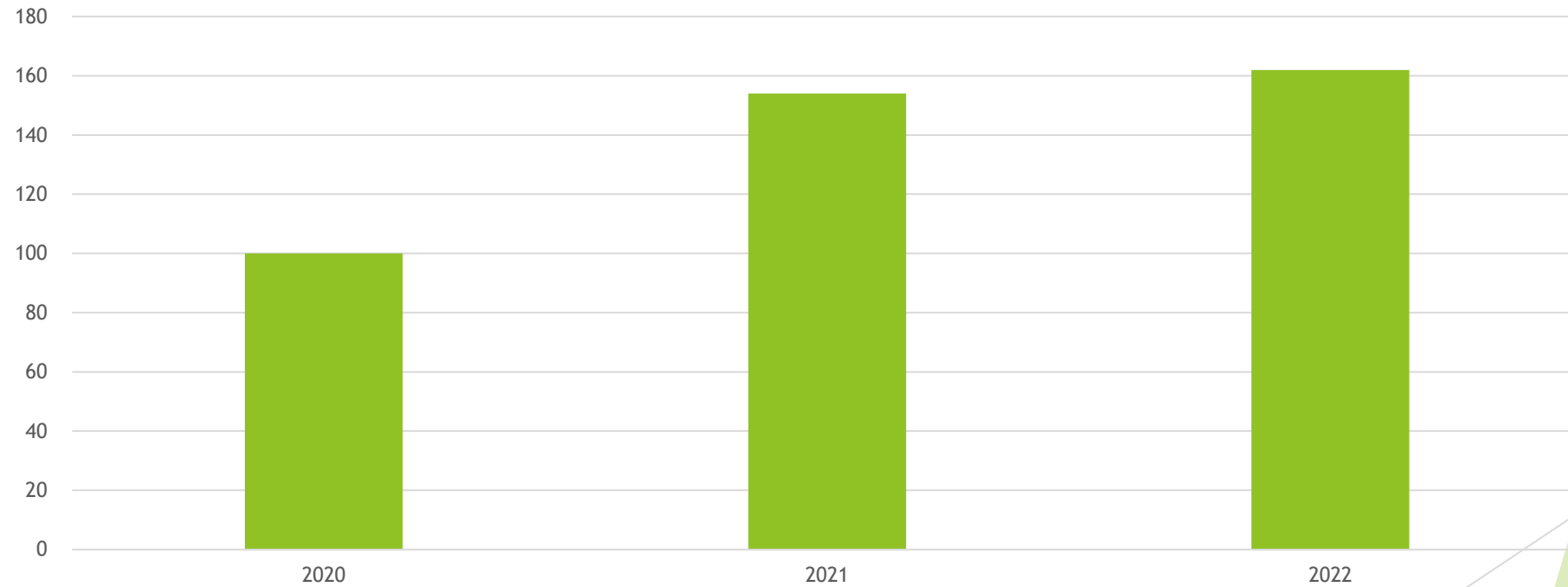
1. 建設・不動産関係 2022年下期振り返り

<エネルギー関係>

- ・ サプライチェーンの混乱に見通しが立ちはじめ、新規契約・発注の意思決定が安定化、増加
- ・ 老朽化した商業ビルの更新需要が堅調に推移

2. 繊維関係 2022年下期振り返り

売上金額



2. 繊維関係 2022年下期振り返り

- 販売単価の上昇
原料である綿花価格が高止まりしたことによる
原糸価格の上昇
- 利益面では苦戦
原料価格上昇分の未転嫁分が利益を圧迫

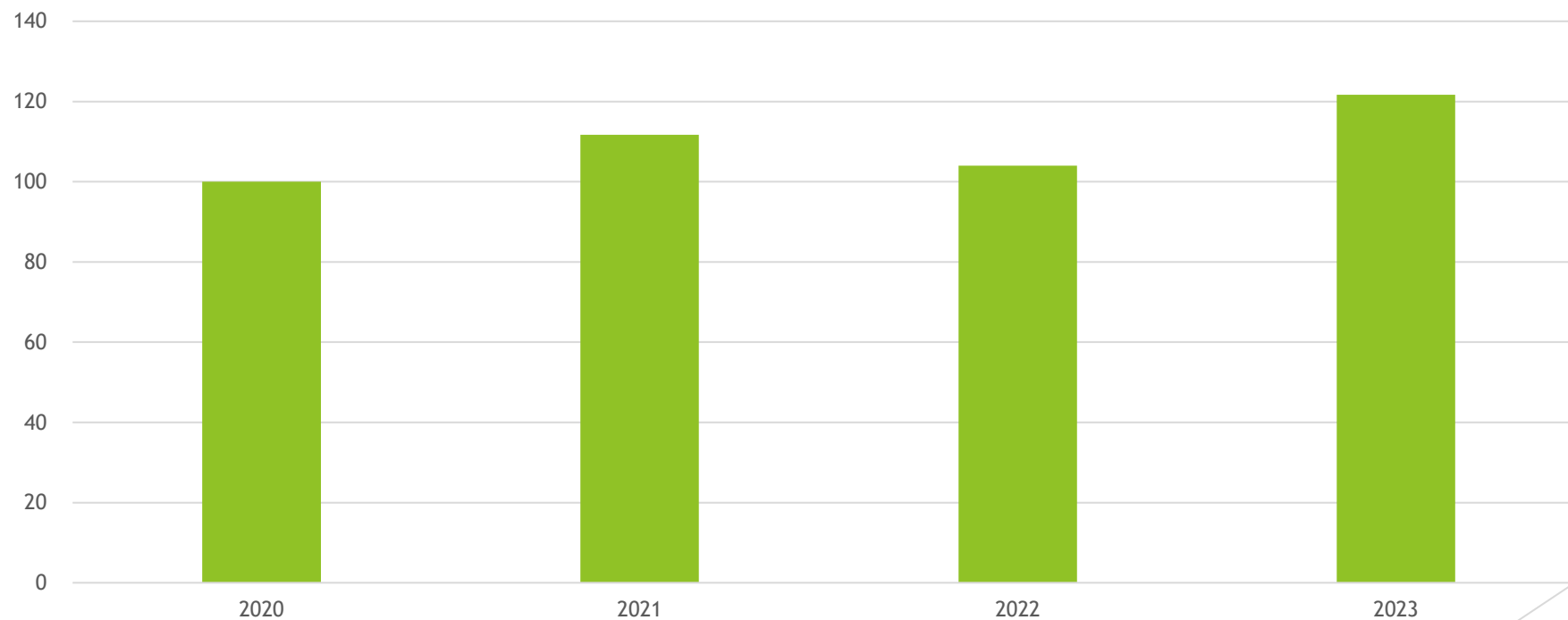
2. 繊維関係 2022年下期振り返り

2022年第4Qの市況変化

- ・ 消費者の買い控えが一層顕著に
- ・ 2023年以降の新しい施策に対する不透明感
- ・ 天候不順（暑くない夏）

3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

受注金額



3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

<建設関係>

- ・世界的な物価上昇・経済の減速で低めの予測
- ・ルーラ大統領の政治手腕が見極められず、
比較的投資を抑制すると予測

3. 建設・不動産・エネルギー関係 2023年通期展望

<不動産関係>

売買市場

- ・中古市場は依然堅調
- ・投資向けの購入は減少傾向
- ・居住用購入検討の増加により市場は活発化

3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

<不動産関係>

賃貸市場

- ・さらなる活発化を予想
- ・人気物件の需要はさらに高まる
- ・空室の築古物件の需要も徐々に戻っている

3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

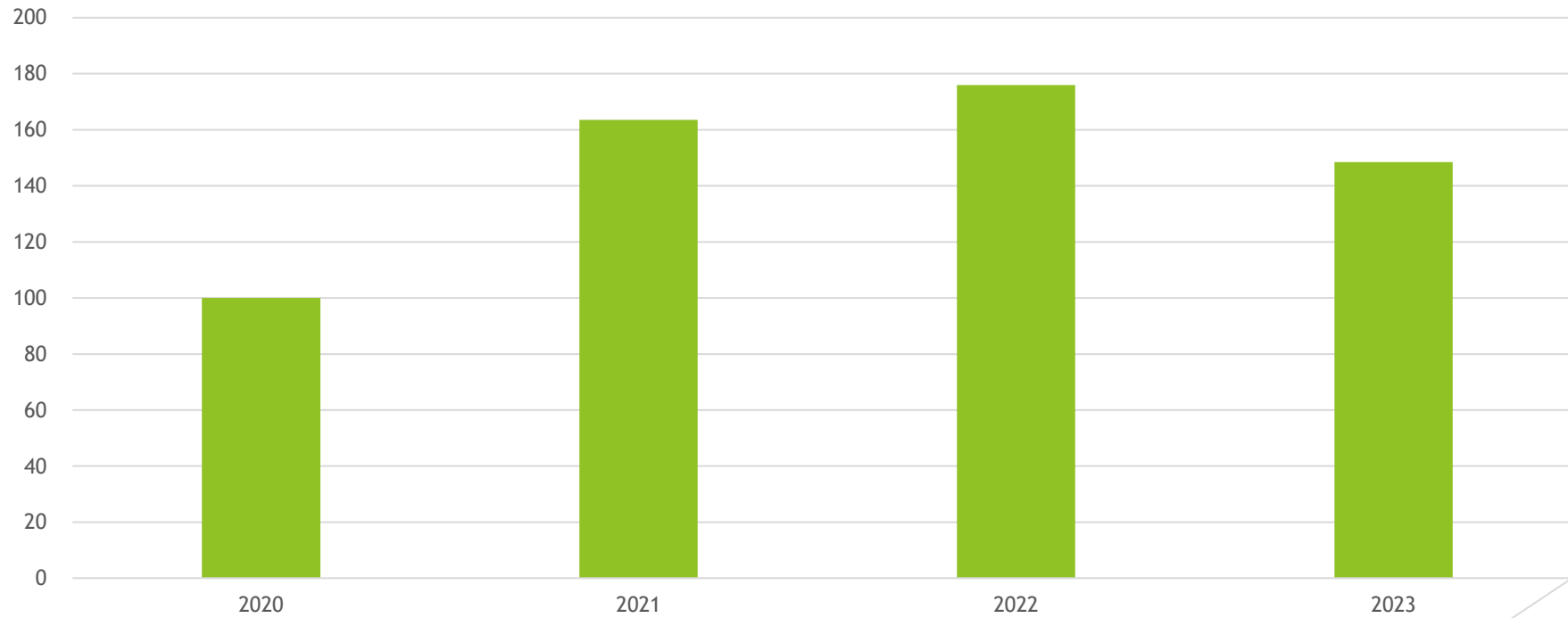
<エネルギー関係>

- ・ポストコロナでの環境の正常化による案件増加が見込まれる。
- ・既存客先の設備拡大・事業地域拡大に期待
- ・機能先鋭化による新規顧客の開拓

4. 纖維關係

2023年通期展望

売上金額

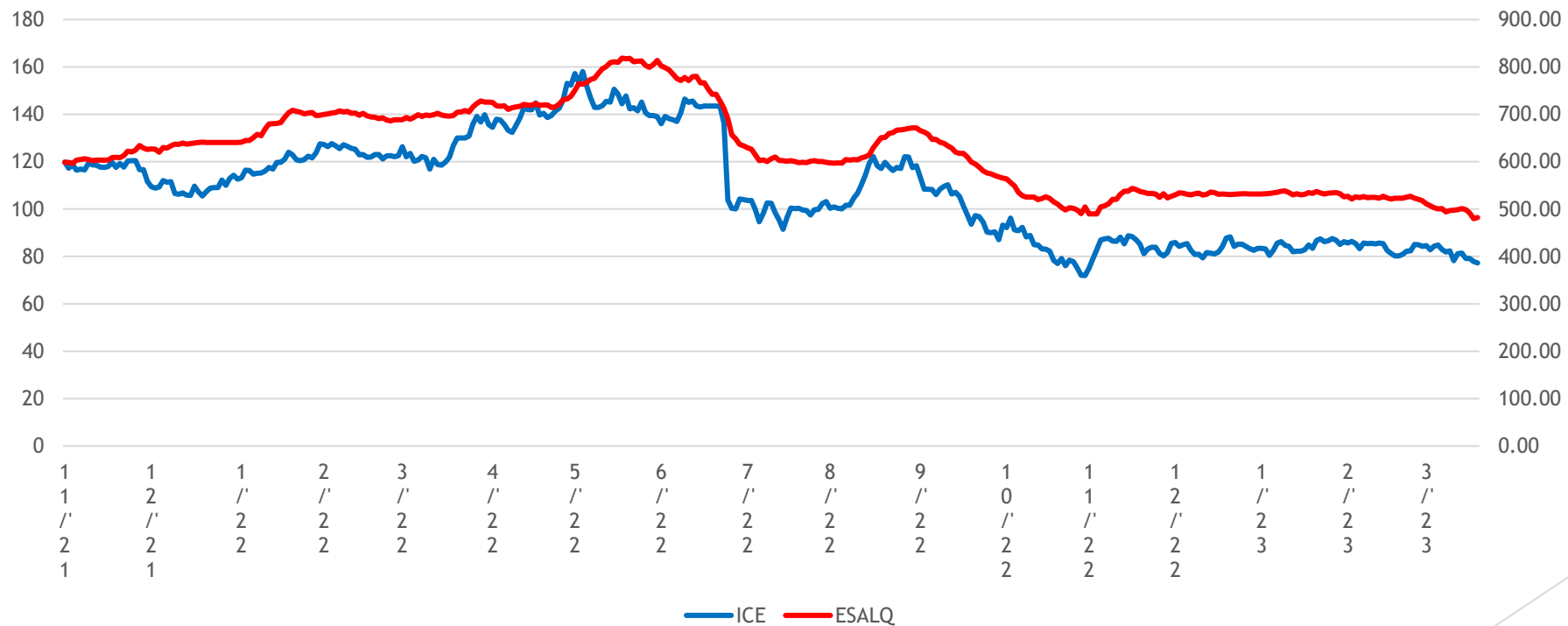


4. 繊維関係 2023年通期展望

- 受注数量では昨年度と同等を見込む
- 衣料市況の低調が川下側の在庫調整につながり
需要そのものは減少傾向
- 販売単価は大幅に下落

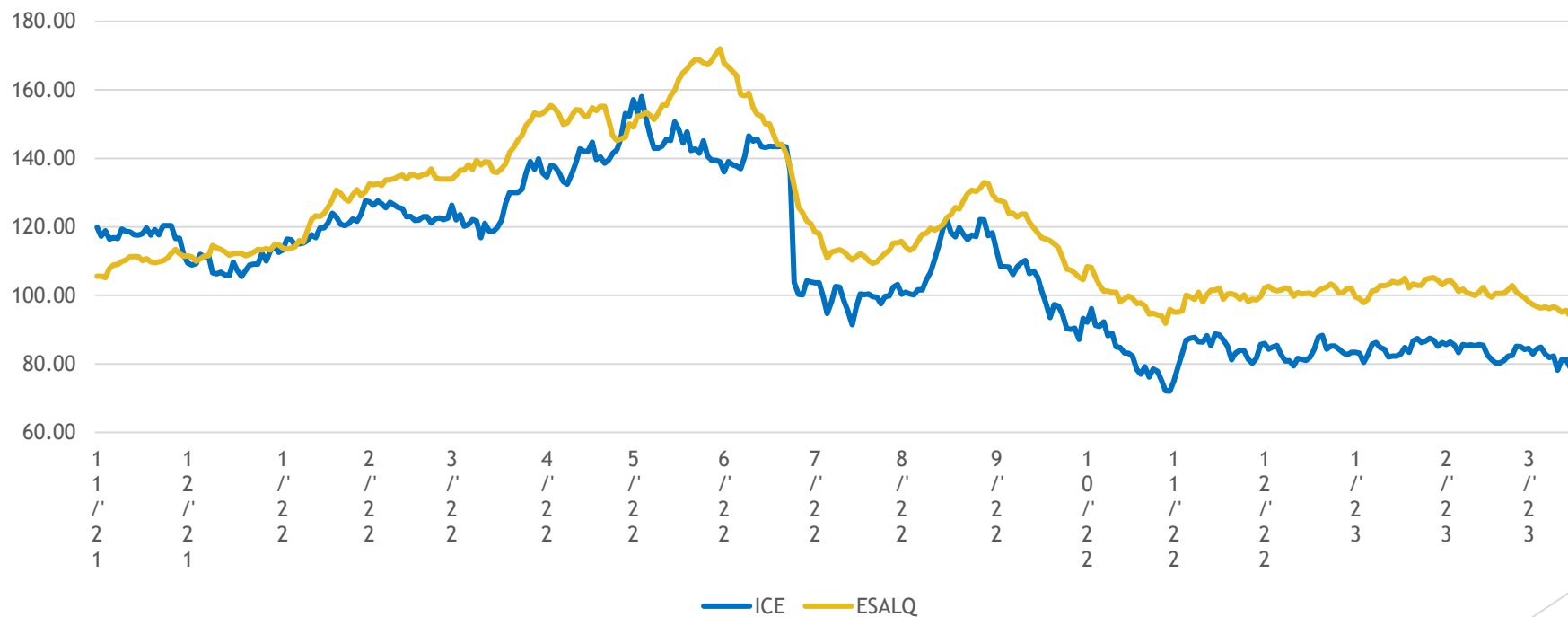
4. 纖維關係 2023年通期展望

ICE FUTURE VS ESALQ



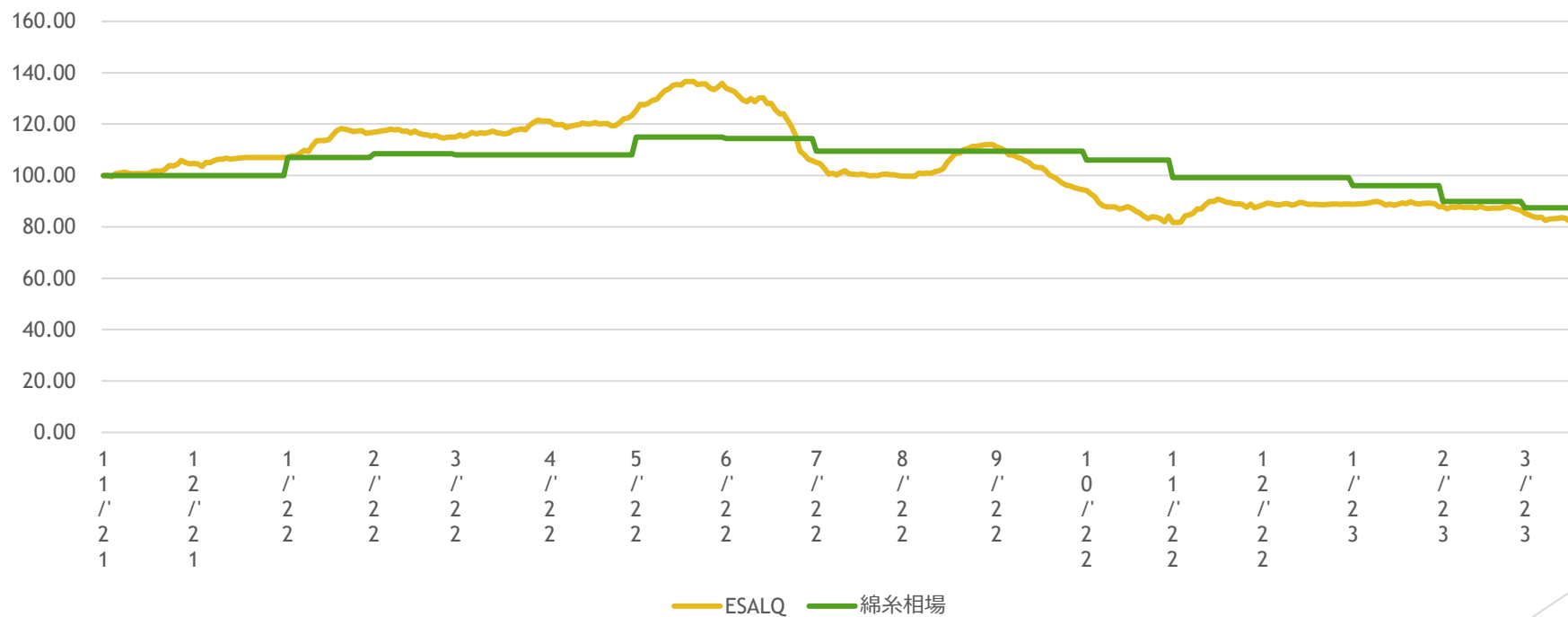
4. 纖維關係 2023年通期展望

ICE FUTURE VS ESALQ(US ¢ /lb)



4. 纖維關係 2023年通期展望

ESALQ VS 綿糸相場①



1	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	1	1	1	2	3
1	2	1'	1'	1'	1'	1'	1'	1'	1'	1'	0	1	2	1'	1'	1'
1'	1'	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1'	1'	1'	2	2	2
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3
1	1										2	2	2			

4. 纖維關係 2023年通期展望

ESALQ VS 綿糸相場②



5. 高インフレの影響を乗り越えるための施策

<建設・不動産・エネルギー関係>

- ・ 作業員の給料上昇、見積価格上昇に直接影響
- ・ さらなるコストダウン、経済的な工法により対応する必要がある。
- ・ 経費のミニマイズを図り、利益を追求。
- ・ 外部委託の活用や、デジタル化で固定費を圧縮することを引き続き検討。

5. 高インフレの影響を乗り越えるための施策

<建設・不動産・エネルギー関係>

- ・インフレリスクを客先やサプライヤーと適切にシェアし、長期的な視点での案件組成を図る。
- ・金利上昇局面においては、借入金を最適化し必要資金に関する戦略的調達を図る。

5. 高インフレの影響を乗り越えるための施策

<繊維関係>

- ・消費動向が食料品・エネルギー等の生活必需品へシフトし、衣料品市場は低調となる。
- ・人件費の増加によるコストアップ。
- ・効率的な生産を進める。
- ・電力契約会社の見直し等によるコストダウン。

ご清聴ありがとうございました